

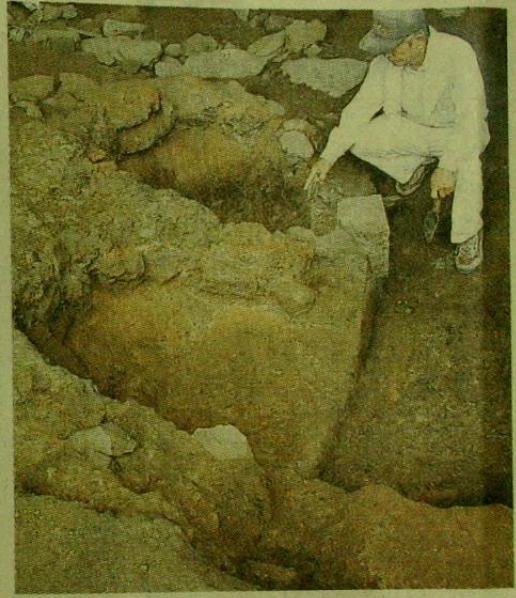
工場を開く。カニを育てようと真剣に取り組む ね。

久留米・善導寺の発掘調査 大型かまど跡2基 江戸初期築造と推定

久留米市善導寺町飯田にある国重要文化財の善導寺の大庫裏の修復工事に伴う発掘調査で、江戸時代初期に造られたとみられる2基の大型かまど跡Ⅱ写真Ⅱが見つかった。さらに古いとみられる5基の小型かまど跡も発掘された。

大庫裏は、寺院の台所にあたる場所。修復工事のため一度、各部材ごとに解体した後の6月中旬から、市文化財保護課が発掘調査をしていた。2基の大型かまどは直径約1.5メートル。同課は「1000人分ほどの大量煮炊き用ではないか」という。小型かまどは直径約70センチ。

善導寺では昨年も、江戸時代中期に造られたとみられる大規模なかまど



跡が発見された。今回の大型かまどは、文献などから江戸時代初期の1625年(寛永2年)に造られたとみられる。小型かまどは周囲の土の状態から、さらに古い時代に造られたらしい。時期は特定できなかった。

善導寺は12世紀末から13世紀初頭に建立されたといわれ、火災などで複数回建て直している。再建の度にかまどが造られていたという。

27日午前11時から約1時間、現地説明会がある。問い合わせは同課(0942・30・9225)へ。

崩落の大橋 工事再開へ

来月から、久留米久留米市大橋町の「大橋」の半分が崩落した。架け替え工事の作業員10人がけがをした。事故で、国交省筑後川事務所は24日、9月3日工事再開する予定。当初は9月末までに完了

成の予定だった。工事再開後は、橋の工事終了後に予定していた取り付け道筋などの工事をするため、供用開始時期は大きくなる見込みだ。

同事務所などの同事務員は7月、橋組を支援する鋼材を運ぶトラックが崩落の原因と発表。

九州地方整備局は今日5日、工事を請け負った

朝日新聞
2005.8.25
朝刊(筑後)

昭和コンクリート工業(岐阜市)と下請けの東栄建設(宮崎県延岡市)を4九月の指名停止とした。

工事は再開後も昭和コンクリート工業が請け負う。同社は再発防止策として、現場代理人、監理技術者など現場責任者を入れ替えるほか、安全管理体制強化のため、仮設工業会など第三者機関にもパトロールや審査を依頼するという。

市長ら給与削減 改正案継続審議

大川市臨時議会

大川市議会は23日、臨時議会を開き、市長の給与と期末手当を3割、助役、収入役、教育長は2割それぞれ削減する条例改正案を継続審議とした。このほか、助役に元市総務部長で大川総合インテリア産業振興センター専務理事の渡辺彰宏氏(62)をあてる人事など4議案を可決し、閉会した。植木光治市長は、収入役を年度内に廃止する方向で検討することを明らかにした。

市によると、改正案が実現されれば、市長、助役、教育長の3人で年間